

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-508610(P2005-508610A)

【公表日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2002-592486(P2002-592486)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/14

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

R N A 分子が：

a) R N A ウィルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；

b) ウィルスの複製に必要なウィルスの非エンコード R N A 配列；及び

(c) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなる、R N A ウィルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項2】

R N A 分子が：

(a) R N A ウィルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；

(b) ウィルスの複製に必要なウィルスの非エンコード R N A 配列；及び

(c) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなり、

a) の R N A 配列及び／若しくは b) のウィルスの非エンコード R N A 配列が、変異した、又は、切断された形態である

R N A ウィルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項3】

R N A ウィルスが、カルジオウィルス又はアフトウィルス属である

請求項1又は2記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項4】

R N A ウィルスが、メンゴウィルスである

請求項3記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項5】

さらに、メンゴウィルス V P 2 遺伝子のシス作用複製エレメント(C R E)からなる

請求項 4 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 6】

さらに、サイラーウイルス V P 2 遺伝子のシス作用複製エレメント (C R E) からなる請求項 4 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 7】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 8】

レポータータンパク質が、緑色蛍光タンパク質である

請求項 7 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 9】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素である

請求項 7 記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 10】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子。

【請求項 11】

少なくとも一つの請求項 1 ~ 7 及び 9 ~ 10 のいずれか一つに記載の自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子、並びに、医薬上受容な担体からなるワクチン。

【請求項 12】

自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子が、裸の R N A である請求項 11 記載のワクチン。

【請求項 13】

自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子が、包膜されている請求項 11 記載のワクチン。

【請求項 14】

医薬上受容な担体が、水、石油、動物油、植物油、ピーナッツオイル、大豆油、鉱油、ごま油、食塩水、水溶性デキストロース、グリセロール溶液、ポリカチオン性粒子、タンパク質粒子、プロタミン粒子、リポソーム及び金粒子から選択される請求項 11 ~ 13 のいずれか一つに記載のワクチン。

【請求項 15】

R N A 分子が：

- (a) R N A ウィルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；
- (b) ウィルスの複製に必要なウィルスの非エンコード R N A 配列；及び
- (c) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなる R N A ウィルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子をエンコードする D N A 分子。

【請求項 16】

R N A 分子が：

- (a) R N A ウィルスの非構造タンパク質をエンコードする R N A 配列；
- (b) ウィルスの複製に必要なウィルスの非エンコード R N A 配列；及び
- (c) 異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードする R N A 配列からなり、

a) の R N A 配列及び / 若しくは b) のウィルスの非エンコード R N A 配列が、変異した、又は、切断された形態である

R N A ウィルスのウイルスゲノムの自己複製組換えプラス鎖 R N A 分子をエンコードする D N A 分子。

【請求項 17】

R N A ウィルスが、カルジオウイルス又はアフトウイルス属である請求項 15 又は 16 記載の D N A 分子。

【請求項 18】

R N A ウイルスが、メンゴウイルスである請求項17記載のD N A分子。

【請求項 19】

さらに、メンゴウイルスV P 2 遺伝子のシス作用複製エレメント（C R E）からなるR N Aをエンコードする

請求項18記載のD N A分子。

【請求項 20】

さらに、サイラーウイルスV P 2 遺伝子のシス作用複製エレメント（C R E）からなるR N Aをエンコードする

請求項18記載のD N A分子。

【請求項 21】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項15～20のいずれか一つに記載のD N A分子。

【請求項 22】

レポータータンパク質が、緑色蛍光タンパク質である

請求項21記載のD N A分子。

【請求項 23】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素である

請求項21記載のD N A分子。

【請求項 24】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである
請求項21記載のD N A分子。

【請求項 25】

さらに、適切なクローニングベクターからなる

請求項21記載のD N A分子。

【請求項 26】

S E Q . I D . N O . 2 6 (受理番号I - 2 6 6 8にて、2 0 0 1年5月2 1日にC N C M、I n s t i t u t P a s t e u r、2 8 r u e d u D o c t e u r R o u x、7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5、F r a n c eに寄託)又はそのフラグメントの配列、及び、発現しうる形態での異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードするD N A配列
からなるD N A分子。

【請求項 27】

S E Q . I D . N O . 2 6 (受理番号I - 2 6 6 8にて、2 0 0 1年5月2 1日にC N C M、I n s t i t u t P a s t e u r、2 8 r u e d u D o c t e u r R o u x、7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5、F r a n c eに寄託)の変異した若しくは切断された形態又はそのフラグメントの配列、及び、発現しうる形態での異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードするD N A配列
からなるD N A分子。

【請求項 28】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項26又は27記載のD N A分子。

【請求項 29】

レポータータンパク質が、緑色蛍光タンパク質である

請求項28記載のD N A分子。

【請求項 30】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素

である

請求項2 8記載のD N A分子。

【請求項3 1】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである
請求項2 6又は2 7記載のD N A分子。

【請求項3 2】

S E Q . I D . N O . 2 7 (受理番号I - 2 6 6 9にて、2 0 0 1年5月2 1日にC N C M、In s t i t u t P a s t e u r 、2 8 rue du Do c t e u r R o u x 、7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5 、F r a n c eに寄託)又はそのフラグメントの配列、及び、異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードするD N A配列

からなるD N A分子。

【請求項3 3】

S E Q . I D . N O . 2 7 (受理番号I - 2 6 6 9にて、2 0 0 1年5月2 1日にC N C M、In s t i t u t P a s t e u r 、2 8 rue du Do c t e u r R o u x 、7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5 、F r a n c eに寄託)の変異した若しくは切断された形態又はそのフラグメントの配列、及び、発現しうる形態での異種タンパク質又は異種タンパク質のフラグメントをエンコードするD N A配列
からなるD N A分子。

【請求項3 4】

異種タンパク質が、生理活性タンパク質、レポータータンパク質、細胞毒性タンパク質、病原体のタンパク質又は腫瘍のタンパク質から選択される

請求項3 2又は3 3記載のD N A分子。

【請求項3 5】

病原体のタンパク質が、インフルエンザ核タンパク質又はインフルエンザ赤血球凝集素である

請求項3 4記載のD N A分子。

【請求項3 6】

異種タンパク質のフラグメントが、前記異種タンパク質の抗原又はエピトープである
請求項3 2又は3 3記載のD N A分子。

【請求項3 7】

少なくとも一つの請求項1 5 ~ 3 6のいずれか一つに記載のD N A分子、及び医薬上受容な担体からなるワクチン。

【請求項3 8】

D N A分子が、裸のD N Aである

請求項3 7記載のワクチン。

【請求項3 9】

D N A分子が、包膜されている

請求項3 7記載のワクチン。

【請求項4 0】

受容な媒体中における、少なくとも、請求項1 5 ~ 3 6に記載のD N A分子又は請求項1 ~ 7及び9 ~ 1 0に記載の自己複製組換えプラス鎖R N A分子
からなる治療のための組成物。

【請求項4 1】

受容な媒体中における、少なくとも、請求項1 5 ~ 3 6に記載のD N A分子又は請求項1 ~ 7及び9 ~ 1 0に記載の自己複製組換えプラス鎖R N A分子
からなる治療のためのキット。

【請求項4 2】

S E Q . I D . N O . 2 8 (受理番号I - 2 8 7 9にて、2 0 0 2年5月1 6日にC N C M、In s t i t u t P a s t e u r 、2 8 rue du Do c t e u r R o

u x 、 7 5 7 2 4 P a r i s C e d e x 1 5 、 F r a n c e に 寄託) の 配列
からなる請求項2_6記載のD N A分子。

【請求項43】

前記異種タンパク質のエピトープが、リンパ球性脈絡膜炎核タンパク質のN P 1 1 8
- 1 2 6 エピトープである

請求項3_1又は3_6記載のD N A分子。